

一般質問から

行財政改革について

Q 今回、八潮市でも行政評価をおこない、その結果、平成16年度事務事業の見直しや、廃止が決定しましたが、その削減された予算の部分について平成16年度予算に対してどのよう

朝田 和宏

に反映しているのかお尋ねします。

A 行政評価の結果、廃止、休止、縮小といったように見直された事業は、評価対象事業569のうち、48・5パーセントにあたります276事業にのぼっています。そのうち平成16年度予算要求ベースで廃止となった事業費の合計額は5139万6千円、休止となったもの

については3億5802万1千円、他の事業と統合となったものについては73万9千円となっており、それらの合計額は4億1015万6千円となります。さらに、縮小となったものにつきましては、個々の事業により縮小の割合に隔たりがあり、事業費の合計がそのまま削減額というわけではありませんが、対象となった事業費の合計額は34億3996万8千円あり、予算査定過程におきまして所要の削減がなされ、新年度予算の編成に役立つものと考えます。

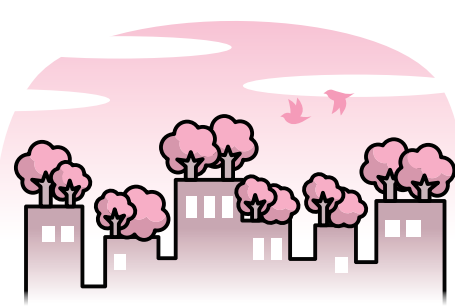
緑化推進について

Q ヒートアイランド現象に歯止めをかけるため、建物の屋上緑化を積極的に推進する

戸川 須美子

考えについてお伺いいたします。

A 八潮市におきましては、国のヒートアイランド現象緩和対策の調査結果や、法、県条例の改正内容との整合を図りながら、「八潮市緑化推進及び緑の保全に関する条例」を改正し、「八潮市緑の基本計画」で位置付けしている八潮南部地区や中央一丁目地区等の「緑化推進重点地区」について、屋上緑化や壁面緑化も含めた緑化の推進を進めてまいりたいと考えております。



公共施設等の鳥インフルエンザの対応について

Q 1月から山口県、大分県京都府、兵庫県と感染を広げた高病原性鳥インフルエンザは全国的な問題となっております。今日感染の原因は不明のまま月

豊田 吉雄

日が進行しています。本市の学校、幼稚園等の施設における鳥類の飼育の実態と鳥インフルエンザについて、どのような対応を考えていますか。

A 飼育状況について、ニワトリ、チャボ、ウコッケイなどの鳥類を飼育している幼稚園は、6園中2園で、総数17羽でございます。小学校では、10校中9校で、総数59羽でございます。中学校においては、鳥類

を飼育している学校はございません。山口県で鳥インフルエンザが発生して以来、文部科学省等より市教育委員会に、その対応に関する通知が配布されているところでございます。市教育委員会といたしまして、文書や校長連絡協議会、教頭研究協議会を通じ、飼育小屋の衛生管理やニワトリなどに触った後の手洗い・うがいの励行、鳥類の不審死があった場合の速やかな報告など、適切な対応を指導しているところでございます。

水道行政について

Q 本市の水道は、大口使用者の水量低下または家庭においても節水をしています

飯山 恒男

が、今後の運営状況についてお伺いしたい。

A 水道は都市の経済活動や市民の皆さんが生活する上で欠くことのできないライフラインであり、「安全で良質な水道水の確保と安定供給」を図ることが水道事業者の責務でございます。

近年水需要の減少により収入も減少しております。一方、水道施設については老朽化しており、今後大規模な修繕などの必要性に迫られており、

多額の費用がかかってまいります。また、これまで民間に業務委託するなど経費削減に努めてまいりましたが、今後については収入の増加は見込めず、経営環境は大変厳しくなると認識をしております。これらを考え合わせますと経営基盤の強化のために現行の水道料金の見直しが必要であると

スポーツの振興について

Q 文部科学省は、平成16年度より総合型地域スポーツ

武之内 清久

クラブの育成推進事業を進めることですが、本市の取組についてお伺いします。

A 文部科学省が平成12年に策定したスポーツ振興基本計画では、平成22年度までに、各市町村に少なくとも一つは総合型地域スポーツクラブを育成するとしております。

総合型地域スポーツクラブとは、地域に住んでいる皆さんが主体となって運営するもので、複数のスポーツ種目を用意し、子どもから高齢者までそれぞれの年齢・興味・関心・技術レベ

ルに応じて活動できるという特徴をもっています。総合型地域スポーツクラブに対する本市の取組につきましては、クラブ設立に関する研修・研究会への参加や、先進市への視察などを通して調査研究をしているところです。今後につきましても、国等の動向に注視しながら、本市の特性や実情を調査研究してまいりたいと考えております。

歩道の段差整備について

Q 県道越谷・八潮線いわゆる産業道路の歩道の段差整備についてお伺いします。

森下 純三

A 越谷県土整備事務所に伺いましたところ、現在、歩道の段差整備を実施する路線としての位置付けはされておられません。しかしながら、特に危険と思われる箇所については、調査の上、段差整備をしてまいりたいとの回答をいただいております。市としても、歩道の段差解消に向け、引き続き県に要望してまいります。

